

令和5年度学校関係者評価委員会

議 事 録

学校法人 さくら学園

慈恵歯科医療ファッション専門学校

日時：令和6年2月27日(火)10:00～

場所：学校法人さくら学園 応接室

記録：山中 幸子

参加者

【外部委員】5名

浅井 章夫	様	(浅井歯科医院院長)
樋口 泰弘	様	(水野株式会社常務) 欠席
横山 美佐江	様	(卒業生)
塚元 雅則	様	(岡崎東高校教員)
宮路 友也	様	(近隣住民)

【内部委員】5名

岩瀬 せつ子	(学校法人さくら学園理事長)	
大石 純男	(慈恵歯科医療ファッション専門学校 校長)	
岩田 美幸	(ファッションベーシック学科 学科長)
伊藤 清美	(医療事務学科 学科長)
山中 幸子	(歯科衛生士学科 学科長)

【委員会次第】

司会・進行 大石 純男

開会：大石 純男委員の開会挨拶にて開会

1. 理事長挨拶 (岩瀬 せつ子)

卒業式を控えての評価委員会開催。年度末にあたり、色々なご意見をいただきたい。

2. 参加者自己紹介

上記の出席

3. 学校法人さくら学園の概要説明 (理事長 岩瀬 せつ子)

- ・専門学校として大きな変化はない。マン・ツー・マンの授業態勢の中、学生の授業への食い付きには少し不安もあるが、各学科それぞれ工夫し取り組んだ。
- ・当校には個別に先生に質問できる良さがある。

- ・職業実践専門課程(文部科学省認定)、企業連携の組織的な教育を実施する専門学校として認定された（令和4年度）。
- ・歯科衛生士学科が専門実践教育訓練給付金制度の対象講座と認定された（令和6年4月1日付）。

4、学科説明

別添資料にて報告

1) 岩田（ファッション学科 ファッションテクニカル学科）

- ・別添資料に沿って報告

【検定資格取得状況説明】

7 検定 2 資格取得

- ・ファッション学科は職種が多く、多様である。求人は多い。
- ・ファッションよりもデザイン希望者が多い。

2) 伊藤（医療事務学科）

- ・別添資料に沿って報告

【検定資格取得状況説明】

7 検定 1 研修 1 認定試験取得

- ・診療報酬事務能力認定試験は全国合格率 40%のところ、当校は 77%合格

3) 山中（歯科衛生士学科）

- ・別添資料に沿って報告

【資格取得状況報告】

1 国家試験 1 研修取得

- ・今年度の国家試験の結果発表は R 6.3.26 である。R 6.3.2 国家試験受験予定受検者 34 名は全員合格の予定である。

5、就職状況

別添資料にて報告

岩田 伊藤 山中

1) 令和5年度の実績報告

- ・三科の卒業生数、就職率、について別添別紙を参照し報告。

①歯科衛生士学科

求人件数より歯科衛生士の不足が読み取れる。

33名就職内定 1名検討中（歯科医院就職32名 病院就職1名）

②医療事務学科

医療機関10名、販売職2名、生産職1名に就職内定。

③ファッション学科・ファッションテクニカル学科

卒業生それぞれの進路にて就職。留学生3名も就職。

6、学生アンケートについて

別添資料にて報告 大石

学校生活アンケート結果を抜粋して提示、主な内容について学校改善案を提案。

項目

・学校生活 ・学校行事 ・授業 ・実習 ・先生 ・環境

【回答】

それぞれの項目についての要望事項を真摯に受け止め改善可能な限り、環境整備

・人的整備に取り組んでいき、有意義な学校生活を送れるよう取り組む。

7、自己評価報告書（令和5年度）を配布して説明

各項目について概略説明を行った。

・当校の学校理念を浸透させ、教育活動、学生指導、特別活動を展開させていく。

8、自己評価結果における審議

(浅井 章夫様)

- ・歯科衛生士学科の入学者数31名の現時点人数について、西三河地区歯科医師会も今後の増加に向けてタイアップしていきたい。
- ・苦労して技術を身に付けていくことの大切さを伝えていきたい。
マン・ツー・マンの指導による歯科衛生士の資格取得の大切さ、良い仕事として認知されてきている。
- ・高齢者のオーラルフレイルへの対応、若年者の口腔ケアが重要になってきている。
- ・スマホの活用、タブレットの使用、パソコンの授業の充実、環境の整備が必要となっている。オンライン授業の効果についても検証が必要である。
- ・地元、安城にもう少し就職者がほしいし、臨床実習施設の増加が必要である。

(宮治 友也様)

- ・医療事務学科は、現在2コースに分かれて、総合ビジネスコースは5名で実施しているが、少人数での効果はあるのか。
- ・ファッション学科の就職は多様化している。デザイナーやパタンナーとして、伝統ある就職先に内定をもらっていることをもっとアピールして、入学志願者の増加が図れないか。
- ・留学生の就職先として、接客・受付や医療系でも増加してきている。留学生の

教育の仕方も変化してきている。表に出て仕事するようになり、普通に話しかけられる時代になってきている。

(横山 美佐江様)

- ・専門学校で様々な知識・技術を身に付け、人間性も身に付けたように思う。2年間で、めげずに休まず努力することを学んだ。最近、精神的に弱く、人間関係を築くのが難しい学生が増えているように思う。専門学校で学んだことは、今考えると効果があり、役立っている。

(塚元 雅則様)

- ・学生の人数の確保がますます難しくなっている。
- ・資格取得については各学科に応じた資格取得ができており、教育効果の表れであると評価できる。
- ・就職先についても資格取得内容に応じて、出口が明確であるのでしっかりと資格取得を目指していくとよい。
- ・高校としては、進路指導をする際、どこまでやっているかを考えて学生指導をしていく。出口（資格取得内容）が明確であることは指導しやすい。
- ・専門学校を希望する学生は目的が明確で意志の強い学生が多いと感じる。
- ・今の高校生の進路は多岐・多様である。(医療系⇒看護、歯科 イラスト、デザイン希望者⇒芸大)

9. 挨拶

岩瀬理事長

ご多用の中、委員の皆様全員にご出席いただき、貴重なご意見を沢山いただきまして、感謝しております。いただいたご意見は、今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。ありがとうございました。